

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・廃棄物の有効活用化に取り組んでいる。 ・排水処理状況の把握と管理をしている。 ・地下水保全に取り組んでいる。 ・ボイラー排煙や煤塵並びに騒音を定期的に測定し適切な管理を実施している。 ・産業廃棄物業者と契約し、工場から発生するプラゴミや機械設備廃材等の適切な処理を行っている。			3.9		6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・エネルギー使用量を把握している。 ・中長期計画を立て、省エネに取り組んでいる。 ・工場内外の照明について、蛍光灯や水銀灯のLED化を進めている。 ・スチームアキュムレーター(蓄圧装置)設置により効率のよい蒸気を作り出しており、高い省エネ効果を得ている。							7.3					13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・事業活動温暖化対策計画書を提出しており、温室効果ガスの排出量を把握したうえで、抑制に取り組んでいる。 ・廃棄物を焼却せず、有効活用化に取り組んでいる。 ・各工場に省エネ委員会を設置している。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・社員にマイボトルを配布して、プラスチックごみ削減を進めている。 ・環境に配慮したサステナブル大豆を使用した商品を販売している。					6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・「令和2年度3R推進功労者等表彰」において農林水産大臣賞を受賞している。 ・リデュース:管理手順書の作成や見直しを行いロスの削減や歩留まり向上に努めている。 ・リユース:フレコンバックを再使用(委託業者による引取り)している。 ・リサイクル:製品の検品等で製品化できないものを、包材を取り除き飼料用・肥料用として再利用し有価物として販売している。										9.4		12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・公益財団法人くまもと地下水財団に賛助会員として加入している。 ・県へ地下水涵養計画・使用合理化計画を提出し、各対策を実施している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・再生用紙利用を推進している。 ・関連機器やシステムの導入によりペーパーレス化を推進している。										9.4		12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・市販できない規格外品(食する分には問題ない)について、畜産・農家様へ飼料・肥料として供給(有価物)又、従業員の昼食に提供している。 ・子ども食堂やフードバンクへ提供している。		1	2			6.4						12.3		14	15		17		
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・植栽をできるだけ多く設けることで緑の創出・保全等に取り組んでいる(本社及び各工場など)。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17		
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・太陽光パネルで自家消費し、節電に取り組んでいる。 ・エネルギー使用量を把握している。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6					9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6							11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・納豆容器のフタ材をシールタイプにする事でプラスチック使用量の削減に取り組んでいる。												12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・社用車は、全車ハイブリッド車へ移行した。(45台/45台中)											9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●											7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

